

令和6年度 平野北中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様に説明責任を果たすことが重要であると考え、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、学校が各調査の結果や各調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、各調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにし、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

1 「全国学力・学習状況調査」の調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への学習指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2-1 「中学生チャレンジテスト」の調査の目的

- (1) 大阪府教育委員会が、府内における生徒の学力を把握・分析することにより、大阪の生徒課題の改善に向けた教育施策及び教育の成果と課題を検証し、その改善を図る。加えて、調査結果を活用し、大阪府公立高等学校入学者選抜における評定の公平性の担保に資する資料を作成し、市町村教育委員会及び学校に提供する。
- (2) 市町村教育委員会や学校が、府内全体の状況との関係において、生徒の課題改善に向けた教育施策及び教育の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、学力向上のためのPDCAサイクルを確立する。
- (3) 学校が、生徒の学力を把握し、生徒への教育指導の改善を図る。
- (4) 生徒一人ひとりが、自らの学習到達状況を正しく理解することにより、自らの学力に目標を持ち、また、その向上への意欲を高める。

2-2 「大阪市版チャレンジテストplus」の調査の目的

- (1) 生徒及び保護者が、学習理解度及び学習状況等を知り、目標をもって主体的に学習に取り組めるようにする。
- (2) 学校が生徒一人ひとりの学力を的確に把握し、学習指導の改善及び進路指導に活用する。
- (3) 学びの連続性を確立する観点から、客観的・経年的なデータを把握、分析し、効果的な指導方法や課題を「見える化」し、その改善に役立てる。

3 「大阪市英語力調査（GTEC）」の調査の目的

- (1) グローバル社会において活躍し貢献できる人材の育成をめざし、生徒の英語力の充実・向上を図るため、本市教育振興基本計画に基づき、生徒に求められる英語力や学習の習熟過程等を把握・検証する。
- (2) 生徒が自らの英語力を的確に把握するとともに、生徒の英語力の実態を分析することにより、各学校における学習指導の充実や改善、工夫に役立てる。

4 「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」の調査の目的

- (1) 子供の体力・運動能力等の状況に鑑み、国が全国的な子供の体力・運動能力の状況を把握・分析することにより、子供の体力・運動能力の向上に係る施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 各教育委員会、各国公立学校が全国的な状況との関係において自らの子供の体力・運動能力の向上に係る施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、子供の体力・運動能力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- (3) 各国公立学校が各児童生徒の体力・運動能力や運動習慣、生活習慣、食習慣等を把握し、学校における体育・健康等に関する指導などの改善に役立てる。

令和6年度 平野北中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

1 全国学力・学習状況調査

学年		生徒数 (人)	平均正答率(%)		平均無解答率(%)	
実施月日			国語	数学	国語	数学
3 年	学校	121	53	44	5.1	16.4
	大阪市	—	56	51	4.1	12.5
4月18日	全国	—	58.1	52.5	3.9	11.3

2 中学生チャレンジテスト

学年		生徒数 (人)	平均点(点)					平均無解答率(%)				
実施月日			国語	社会※	数学	理科※	英語	国語	社会※	数学	理科※	英語
3 年	学校	118	59.7	48.1	47.2	47.3	45.2	6.1	5.1	15.0	5.2	8.2
	大阪市	—	65.4	50.2	48.8	52.1	54.0	4.9	4.7	14.3	4.1	6.5
9月3日	大阪府	—	65.2	50.4	49.1	52.3	53.6	5.3	5.0	14.8	4.4	6.9
2 年	学校	89	68.1	53.6	54.6	46.9	50.9	6.7	3.1	5.0	4.0	6.8
	大阪市	—	66.1	49.9	51.4	47.0	54.6	8.4	4.6	8.2	5.7	7.0
1月9日	大阪府	—	65.5	49.5	50.7	45.9	54.0	9.3	5.2	9.5	6.6	7.9
1 年	学校	103	60.3	58.0	47.1	51.9	56.4	7.7	5.6	8.4	5.0	5.7
	大阪市	—	59.0	53.7	50.5	55.6	62.1	8.3	5.5	7.4	3.8	4.9
1月9日	大阪府	—	58.5	—	49.8	—	61.5	9.4	—	8.8	—	5.8

- ※ 1年生の社会・理科については、「大阪市版チャレンジテストplus」として実施
 ※ 1年生の理科は化学的領域を選択
 ※ 2年生の社会はA問題を選択 2年生の理科はA問題を選択
 ※ 3年生の理科はC問題を選択

3 大阪市英語力調査 (GTEC)

学年		生徒数 (人)	読むこと 【リーディング】 (スコア)	聞くこと 【リスニング】 (スコア)	書くこと 【ライティング】 (スコア)	話すこと 【スピーキング】 (スコア)
実施月日						
3 年	学校	112	96.5	95.3	137.0	91.9
10月25日	大阪市	—	105.7	104.6	149.6	102.1

4 全国体力・運動能力、運動習慣等調査

学年	生徒数 (人)	握力 (kg)	上体 起こし (数)	長座 体前屈 (cm)	反復 横とび (点)	20m シャト ルラン (回)	持久走 男子1500m 女子1000m (秒)	50m走 (秒)	立ち 幅とび (cm)	ハンドボール 投げ (m)	体力 合計点 (点)
	80										
2 年 男 子	学校	30.24	25.33	42.59	42.94	76.17		8.14	196.11	18.26	38.07
	大阪市	28.38	26.42	42.74	51.50	79.76		8.08	194.64	19.84	41.10
	全 国	28.95	25.94	44.47	51.51	78.98		7.99	197.18	20.57	41.86
2 年 女 子	学校	24.67	20.17	41.44	41.60	41.88		9.41	165.07	11.79	43.26
	大阪市	22.99	22.21	45.64	45.86	52.98		9.01	167.01	12.04	47.51
	全 国	23.18	21.56	46.47	45.65	50.67		8.96	166.32	12.40	47.37

令和6年度 平野北中学校のあゆみ
—結果概要とその分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

調査結果から

【成果と課題】

○全国学力・学習状況調査結果

〈国語〉

平均正答率(%)では、全国平均を5.1ポイント、大阪市平均を3.0ポイント下回り、
平均無回答率(%)では、全国平均を1.2ポイント、大阪市平均を1.0ポイント上回っている。

領域別の平均正答率(%)では、

(1)言葉の特徴や使い方に関する事項で、全国平均を4.7ポイント、大阪市平均を3.0ポイント下回っている。

(2)情報の扱い方に関する事項で、全国平均を3.4ポイント、大阪市平均を2.3ポイント下回っている。

(3)我が国の言語文化に関する事項は、全国平均を2.9ポイント、大阪市平均を3.2ポイント上回っている。

A 話すこと・聞くことにおいて、全国平均を7.8ポイント、大阪市平均を4.2ポイント下回っている。

B 書くことにおいて、全国平均を4.6ポイント、大阪市平均を1.5ポイント下回っている。

C 読むことにおいて、全国平均を7.6ポイント、大阪市平均を5.9ポイント下回っている。

〈数学〉

平均正答率(%)では、全国平均を8.5ポイント、大阪市平均を7.0ポイント下回り、
平均無回答率(%)では、全国平均を5.1ポイント、大阪市平均を3.9ポイント上回っている。

領域別の平均正答率(%)では、

A 数と式において、全国平均を10.3ポイント、大阪市平均を8.8ポイント下回っている。

B 図形において、全国平均を8.1ポイント、大阪市平均を6.7ポイント下回っている。

C 関数において、全国平均を7.8ポイント、大阪市平均を5.2ポイント下回っている。

D データの活用において、全国平均を7.6ポイント、大阪市平均を4.9ポイント下回っている。

【今後に向けて】

〈国語〉

我が国の言語文化に関する事項は、全国平均を上回る結果となった。読むことにおいては全国平均を大きく下回っているため、
朝読書の時間を設定して今後も継続して読書活動に取り組んでいく。

〈数学〉

すべての領域において大きく全国平均を下回る結果となった。特に数と式の領域が低かったため基礎的な計算練習を授業で
反復して取り組んでいく。

○中学生チャレンジテスト(3年生)

〈成果〉

平均正答率は大阪府と比較して、国語(-5.5)社会(-2.3)数学(-1.9)理科(-5.0)英語(-8.4)であった。英語・国語・理科が府平均との差が特に大きくなっている。無
回答率も全教科において大阪府平均より多い結果であった。

〈課題〉

全体としては大阪府平均を下回っているが、1年生の時から経年で比較すると少しずつ差は縮まっている。

○大阪市英語力調査(GTEC)において、

〈成果〉

平均正答率を大阪市と比較すると、リーディング(-9.2)リスニング(-9.3)ライティング(-12.6)スピーキング(-10.2)であった。

〈課題〉

すべての単元で大阪市と比較して差が大きい。C-NETの活用方法を再考し、ネイティブの英語を聞いたり話したりする機会を増やしていく。

○中学生チャレンジテスト(1年生・2年生)・中学生チャレンジテストplus

〈成果〉

平均正答率は大阪府と比較して2年生は、国語(+2.6)社会(+4.1)数学(+3.9)理科(+1.0)英語(-3.1)であった。また平均無回答率も全教科で大阪府平均を下回っ
た。1年生では、国語(+1.8)社会(+4.3)数学(-2.7)理科(-3.7)英語(-5.1)であった。平均無回答率は社会と英語以外は大阪府平均を下回った。

〈課題〉

1・2年生とも英語科において、大阪府平均を下回っており、3学年とも英語を苦手とする傾向がみられる。普段から英語に接する環境を整備する必要がある。

○全国体力・運動能力、運動習慣等調査において、

〈成果〉

全国と比較して、男女ともに握力だけが全国平均を上回ったが、それ以外の種目で下回った。

〈課題〉

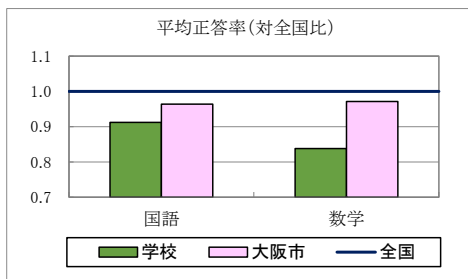
特に20mシャトルランと反復横跳びが全国と比較して、大きく下回っている。普段から運動する機会が少なく持久力が少ない生徒の改善が課題である。

令和6年度 平野北中学校のあゆみ
—結果概要とその分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

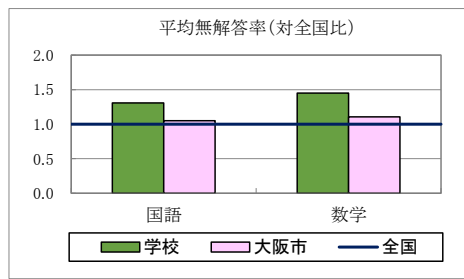
全国学力・学習状況調査 教科に関する調査より

【 全 体 】

	平均正答率(%)	
	国語	数学
学校	53	44
大阪市	56	51
全国	58.1	52.5

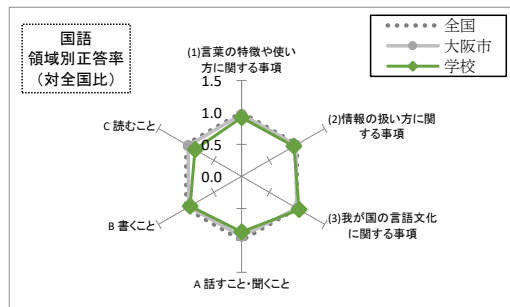
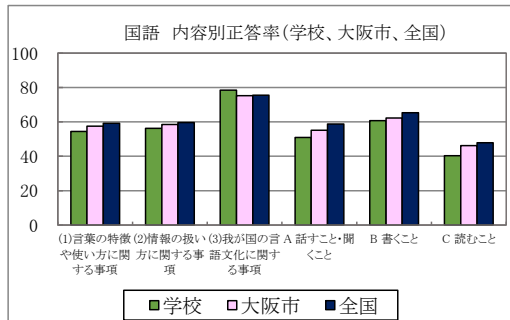


	平均無解答率(%)	
	国語	数学
学校	5.1	16.4
大阪市	4.1	12.5
全国	3.9	11.3



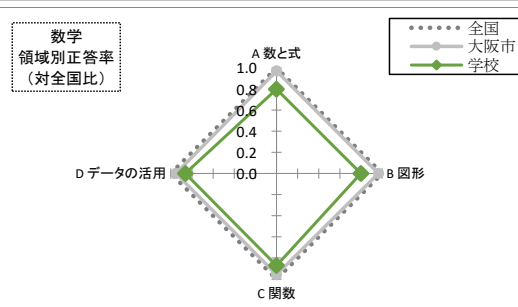
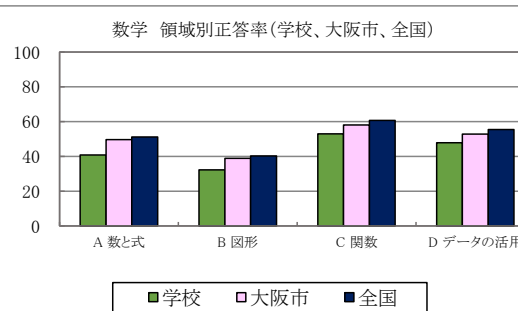
【 国 語 】

学習指導要領の 内容	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使い 方に関する事項	3	54.5	57.5	59.2
(2)情報の扱い方に 関する事項	2	56.2	58.5	59.6
(3)我が国の言語文化 に関する事項	1	78.5	75.3	75.6
A 話すこと・聞くこと	3	51.0	55.2	58.8
B 書くこと	2	60.7	62.2	65.3
C 読むこと	4	40.3	46.2	47.9



【 数 学 】

学習指導要領の 領域	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
A 数と式	5	40.8	49.6	51.1
B 図形	3	32.2	38.9	40.3
C 関数	4	52.9	58.1	60.7
D データの活用	4	47.9	52.8	55.5



令和6年度 平野北中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

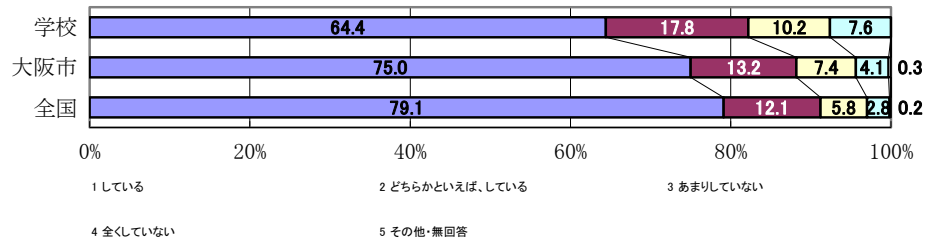
生徒質問より

1 2 3 4 5 6 7 8

質問番号
質問事項

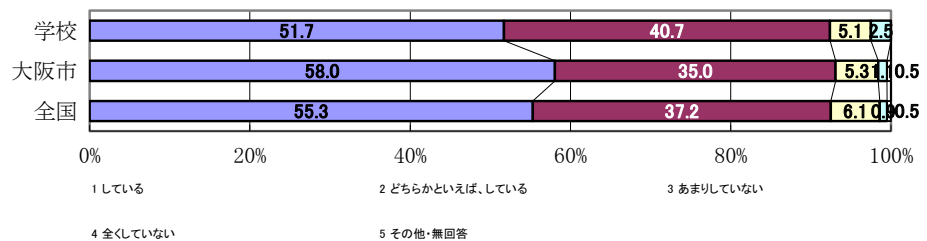
1

朝食を毎日食べていますか



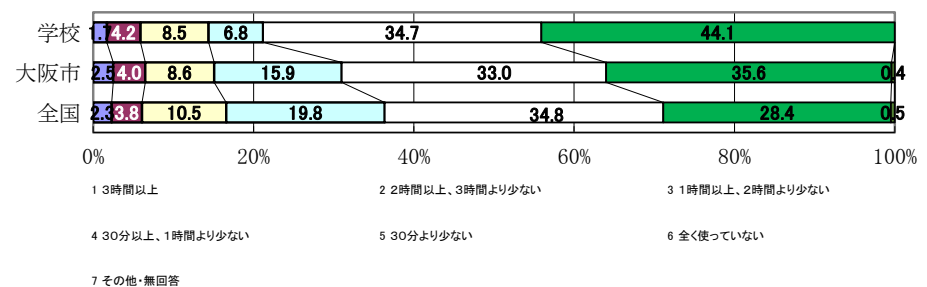
3

毎日、同じくらいの時刻に起きていますか



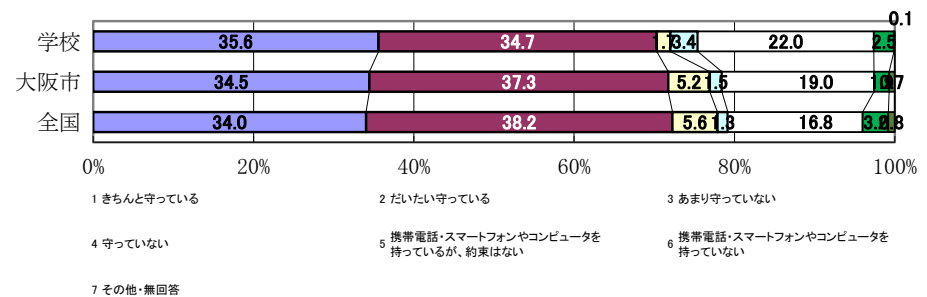
4

学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、PC・タブレットなどのICT機器を、勉強のために使っていますか（遊びなどの目的に使う時間は除く）



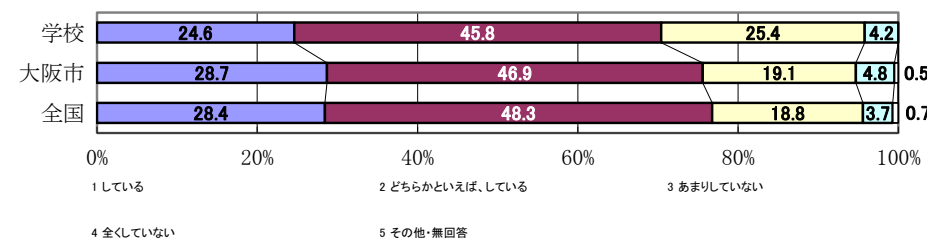
7

携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか



8

健康に過ごすために、授業で学習したことや保健室の先生などから教えられたことを、普段の生活に役立てていますか



令和6年度 平野北中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

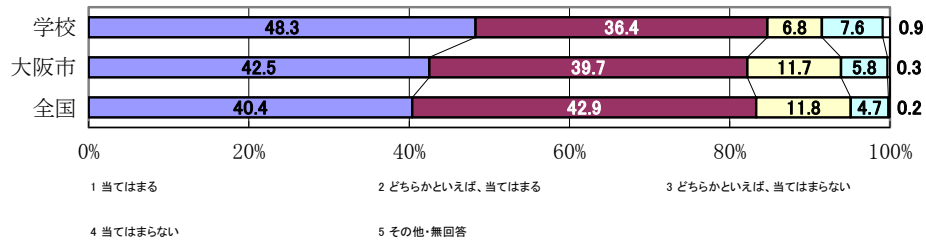
生徒質問より

1 2 3 4 5 6 7 8

質問番号
質問事項

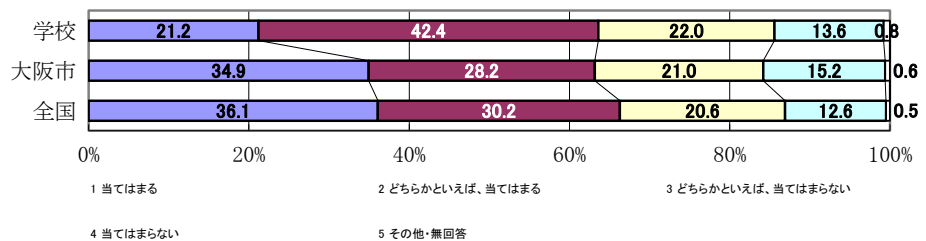
9

自分には、よいところがあると思いますか



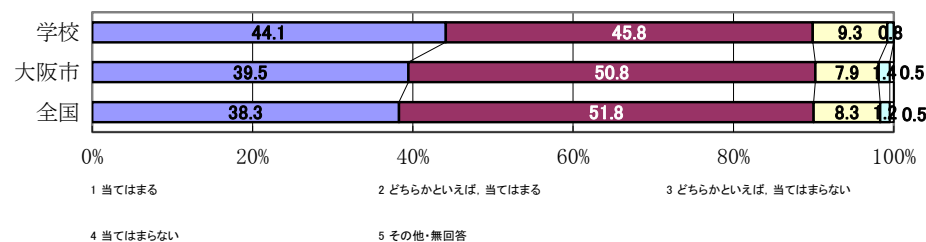
11

将来の夢や目標を持っていますか



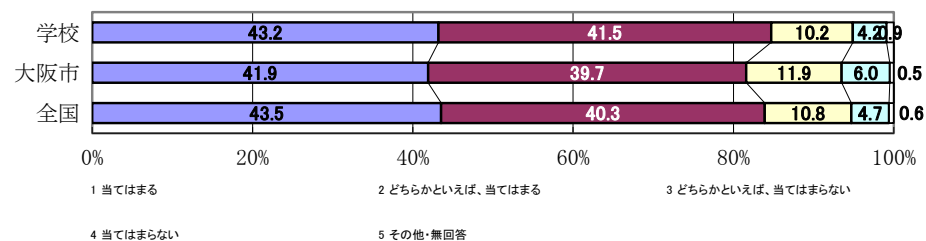
12

人が困っているときは、進んで助け
ていますか



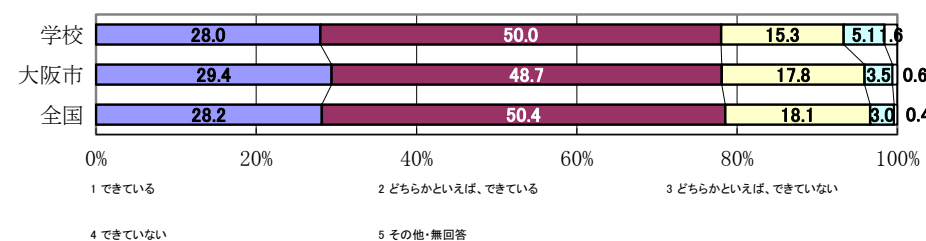
16

学校に行くのは楽しいと思いま
すか



20

分からないことや詳しく知りた
いことがあったときに、自分で
学び方を考え、工夫することは
できていますか



令和6年度 平野北中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

生徒質問より

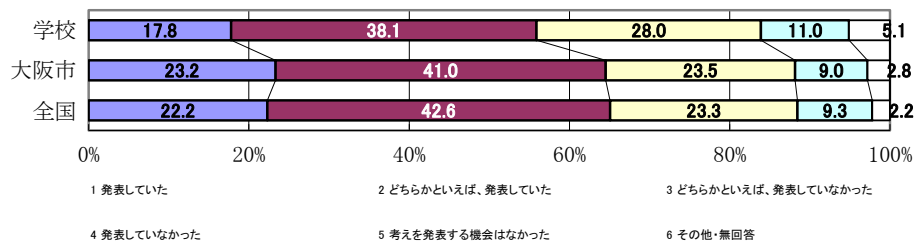
1 2 3 4 5 6 7 8

質問番号

質問事項

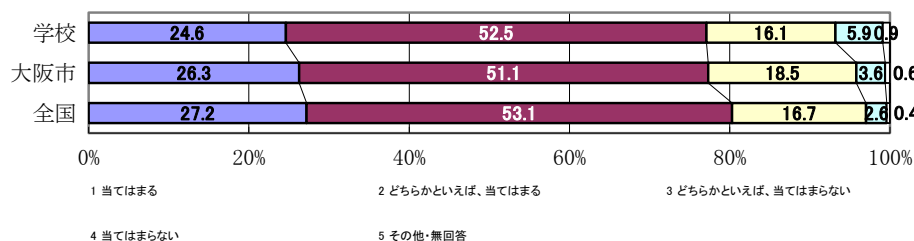
29

1、2年生のときに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか



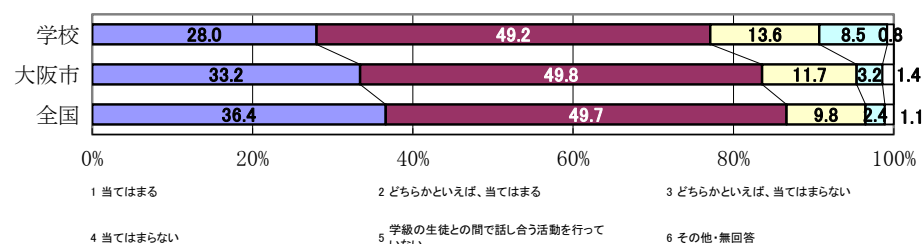
30

1、2年生のときに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか



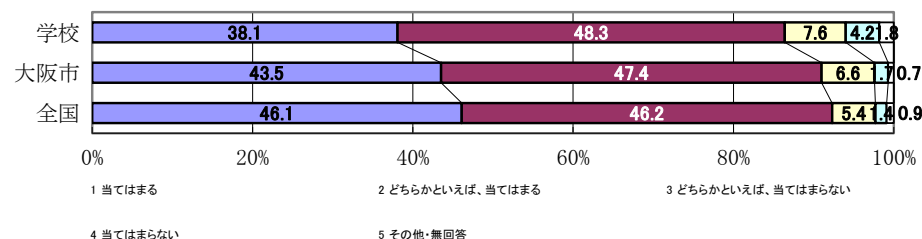
33

学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか



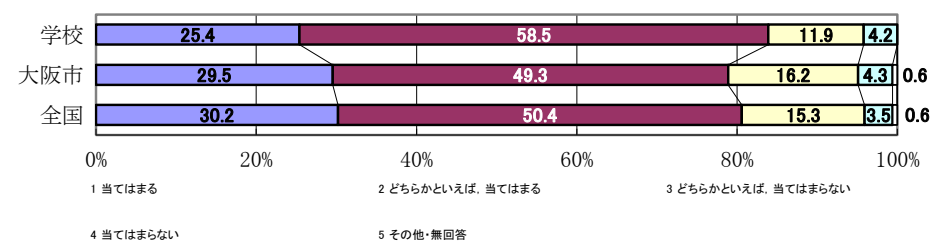
37

授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切に、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいますか



40

学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいますか



令和6年度 平野北中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

生徒質問より

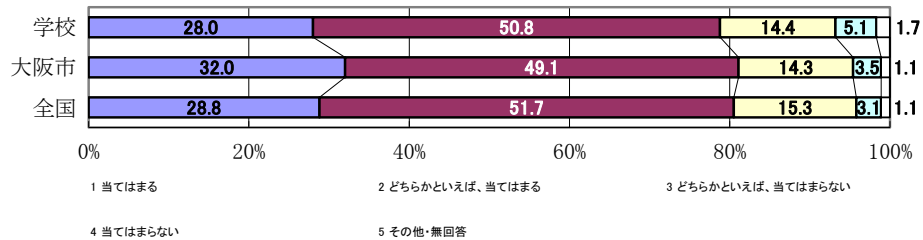
1 2 3 4 5 6 7 8

質問番号

質問事項

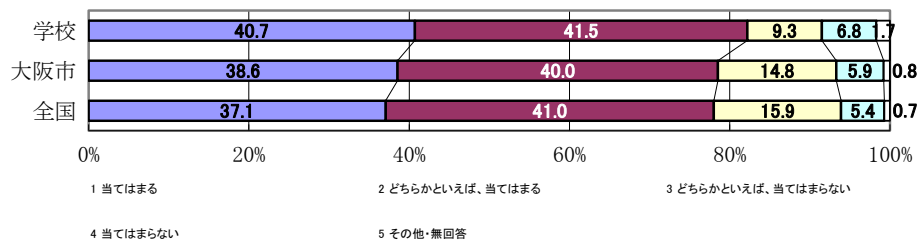
47

国語の授業で、話題や展開を捉えながら話し合い、互いの発言を結び付けて考えをまとめていますか



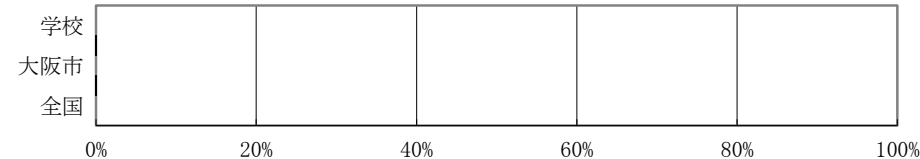
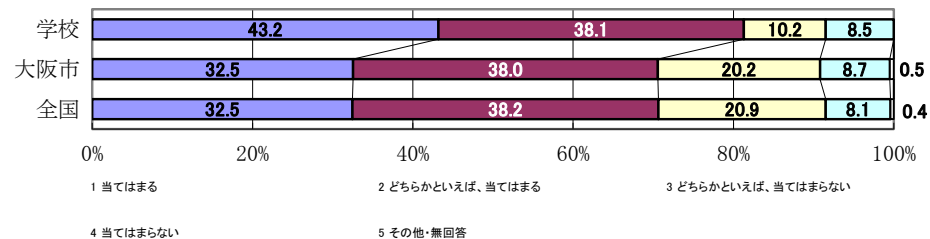
55

数学の問題の解き方が分からないときは、あきらめずにいろいろな方法を考えますか



59

自然の中や日常生活、理科の授業において、理科に関する疑問を持ったり問題を見いだしたりすることがありますか



令和6年度 平野北中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

学校質問より

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

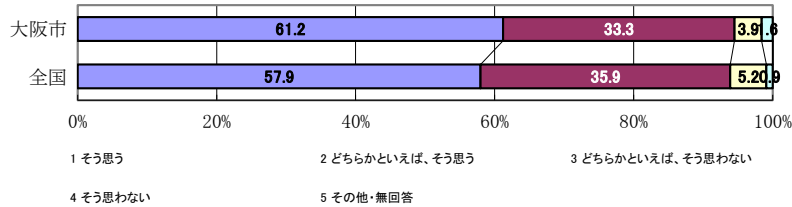
質問番号

質問事項

7

調査対象学年の生徒は、授業中の私語が少なく、落ち着いていると思いますか

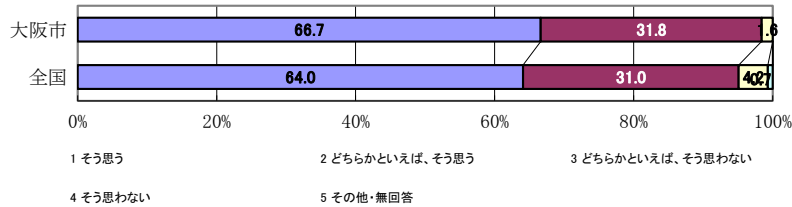
学校 「どちらかといえば、そう思う」を選択



8

スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーによる教育相談に関して、生徒が相談したい時に相談できる体制となっていますか

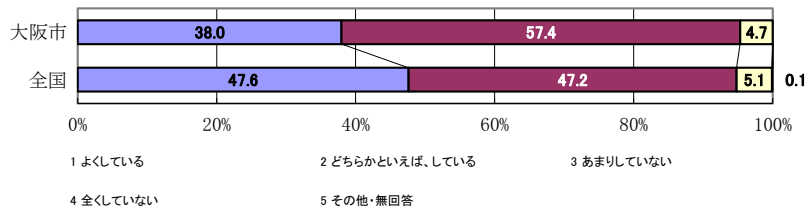
学校 「どちらかといえば、そう思う」を選択



16

授業研究や事例研究等、実践的な研修を行っていますか

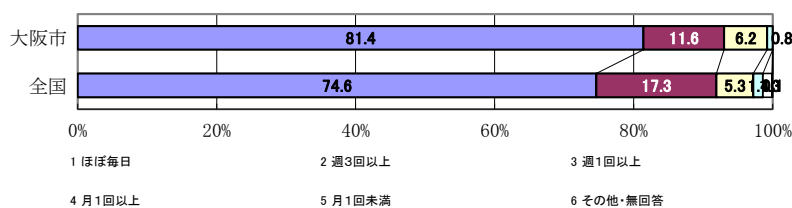
学校 「どちらかといえば、している」を選択



57

前年度に、教員が大型提示装置等(プロジェクター、電子黒板等)のICT機器を活用した授業を1クラス当たりどの程度行いましたか

学校 「週3回以上」を選択



60

調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、生徒一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器を、授業でどの程度活用しましたか

学校 「週3回以上」を選択

